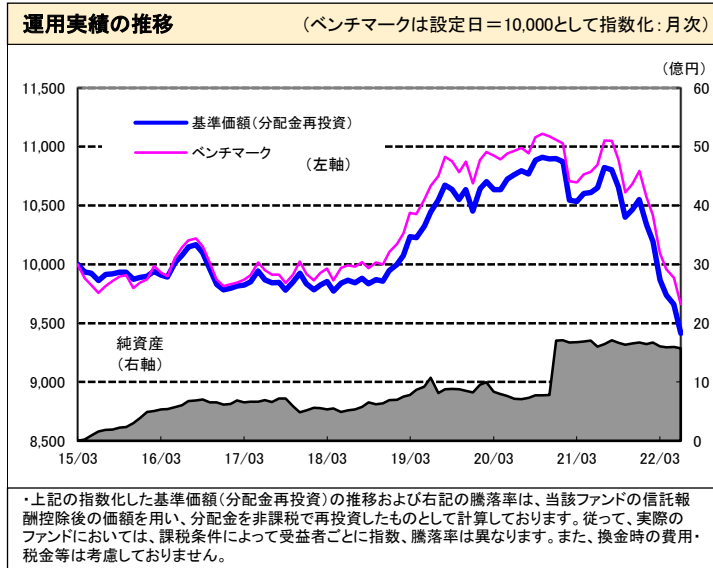


運用実績

2022年6月30日 現在



| | | |
|--------------|---------|---|
| 基準価額※ | 9,386 円 | ●信託設定日 2015年4月1日 ●信託期間 無期限 ●決算日 原則12月6日 (同日が休業日の場合は翌営業日) |
| ※分配金控除後 | | |
| 純資産総額 | 15.7億円 | |
| 騰落率 | | |
| 期間 | ファンド | ベンチマーク |
| 1カ月 | -2.6% | -2.3% |
| 3カ月 | -4.6% | -4.3% |
| 6カ月 | -10.8% | -10.5% |
| 1年 | -11.6% | -10.9% |
| 3年 | -9.9% | -9.4% |
| 設定来 | -5.9% | -3.4% |
| 設定来累計 | 30 円 | |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来=2015年4月1日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ベンチマークであるブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(円ヘッジベース)は、Bloomberg AusBond Composite 0+ Yr Index(オーストラリアドルベース)をもとに、委託会社が独自にヘッジコストを考慮して円換算したものです。

資産内容

2022年6月30日 現在

| 資産別配分 | |
|-----------|-------|
| 資産 | 純資産比 |
| 国債・政府機関債等 | 36.7% |
| 州政府債等 | 30.1% |
| 社債等 | 25.7% |
| アセットバック証券 | 0.7% |
| その他の証券 | 0.0% |
| その他の資産 | 6.9% |
| 合計(※) | - |
| 債券先物 | -5.0% |

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。

| | |
|---------------|------|
| 実質外貨比率 | 1.6% |
|---------------|------|

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

| 格付別配分 | |
|--------|--------|
| 格付 | 純資産比 |
| AAA | 40.1% |
| AA | 37.0% |
| A | 6.6% |
| BBB | 9.5% |
| BB以下 | 0.0% |
| その他の資産 | 6.9% |
| 合計 | 100.0% |

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。格付がない場合は投資顧問会社が同等の信用度を有すると判断した格付によります。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

| ポートフォリオ特性値 | |
|------------|------|
| 平均格付 | AA |
| 平均直利 | 2.7% |
| 平均最終利回り | 3.6% |
| 平均デュレーション | 4.5年 |

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金等を含む)の各特性値(直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものと(現地通貨建)。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。

・デュレーション:金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。

・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

組入上位10銘柄

2022年6月30日 現在

| 銘柄 | 資産 | 純資産比 |
|--------------------------|-------|-------|
| AUSTRALIAN GOVERNMENT | 国債 | 5.2% |
| AUSTRALIAN GOVERNMENT | 国債 | 3.7% |
| AUSTRALIAN GOVERNMENT | 国債 | 2.9% |
| AUSTRALIAN GOVERNMENT | 国債 | 2.7% |
| QUEENSLAND TREASURY CORP | 州政府債 | 2.5% |
| NATIONL HOUSING FIN INVT | 政府機関債 | 2.3% |
| NATIONL HOUSING FIN INVT | 政府機関債 | 2.0% |
| TREASURY CORP VICTORIA | 州政府債 | 1.9% |
| AUSTRALIAN GOVERNMENT | 国債 | 1.9% |
| INTER-AMERICAN DEVEL BK | 国際機関債 | 1.9% |
| 合計 | | 26.9% |

組入銘柄数 : 139 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

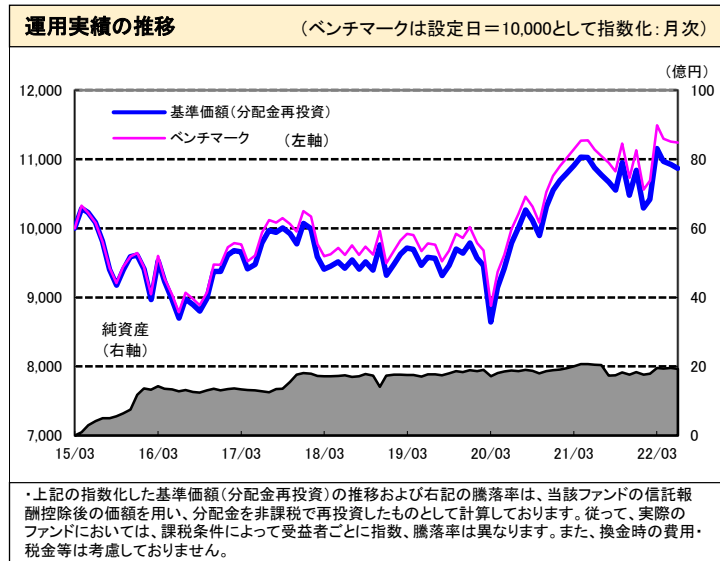
ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

運用実績

2022年6月30日 現在



基準価額※ 10,869 円

※分配金控除後

純資産総額 19.3億円

| 騰落率 | | |
|-----|-------|--------|
| 期間 | ファンド | ベンチマーク |
| 1か月 | -0.5% | -0.1% |
| 3か月 | -2.6% | -2.2% |
| 6か月 | 0.3% | 1.0% |
| 1年 | -0.1% | 0.9% |
| 3年 | 13.5% | 14.9% |

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 8.7% 12.4%

設定来累計 0 円

設定来=2015年4月1日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ベンチマークであるブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(円換算ベース)、Bloomberg AusBond Composite 0+ Yr Index(オーストラリアドルベース)をもとに、委託会社が独自に円換算したものです。

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

| | |
|----------|-----|
| 2021年12月 | 0 円 |
| 2020年12月 | 0 円 |
| 2019年12月 | 0 円 |
| 2018年12月 | 0 円 |
| 2017年12月 | 0 円 |

資産内容

2022年6月30日 現在

| 資産別配分 | |
|-----------|-------|
| 資産 | 純資産比 |
| 国債・政府機関債等 | 37.1% |
| 州政府債等 | 30.4% |
| 社債等 | 26.0% |
| アセットバック証券 | 0.7% |
| その他の証券 | 0.0% |
| その他の資産 | 5.8% |
| 合計(※) | - |
| 債券先物 | -5.0% |

※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示しておりません。

| | |
|---------------|--------------|
| 実質外貨比率 | 98.3% |
|---------------|--------------|

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

| 格付別配分 | |
|--------|--------|
| 格付 | 純資産比 |
| AAA | 40.5% |
| AA | 37.4% |
| A | 6.7% |
| BBB | 9.6% |
| BB以下 | 0.0% |
| その他の資産 | 5.8% |
| 合計 | 100.0% |

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。格付がない場合は投資顧問会社が同等の信用度を有すると判断した格付によります。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

| ポートフォリオ特性値 | |
|------------|------|
| 平均格付 | AA |
| 平均直利 | 2.8% |
| 平均最終利回り | 3.6% |
| 平均デュレーション | 4.5年 |

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金等を含む)の各特性値(直利、最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものと(現地通貨建)。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
・デュレーション:金利がある一定の割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

組入上位10銘柄

2022年6月30日 現在

| 銘柄 | 資産 | 純資産比 |
|--------------------------|-------|-------|
| AUSTRALIAN GOVERNMENT | 国債 | 5.3% |
| AUSTRALIAN GOVERNMENT | 国債 | 3.7% |
| AUSTRALIAN GOVERNMENT | 国債 | 2.9% |
| AUSTRALIAN GOVERNMENT | 国債 | 2.8% |
| QUEENSLAND TREASURY CORP | 州政府債 | 2.5% |
| NATIONL HOUSING FIN INVT | 政府機関債 | 2.3% |
| NATIONL HOUSING FIN INVT | 政府機関債 | 2.0% |
| TREASURY CORP VICTORIA | 州政府債 | 1.9% |
| AUSTRALIAN GOVERNMENT | 国債 | 1.9% |
| INTER-AMERICAN DEVEL BK | 国際機関債 | 1.9% |
| 合計 | | 27.2% |

組入銘柄数 : 139銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。
お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資リスク

各ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

| | |
|-------------------|---|
| ご購入時手数料 | ありません。 |
| 運用管理費用 (信託報酬) | ファンドの純資産総額に年0.55%(税抜年0.5%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 |
| その他の費用・手数料 | 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 |
| 信託財産留保額 (ご換金時) | 1万口につき基準価額に0.1%の率を乗じて得た額 |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期末決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)は、野村アセットマネジメントの関係会社ではなく、野村豪州債券ファンド(野村SMA・EW向け)を承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(Bloomberg AusBond Composite 0+ Yr Index)は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標またはサービスマークであり、野村アセットマネジメントに対してライセンスされています。ブルームバーグは、ブルームバーグオーストラリア債券(総合)インデックス(Bloomberg AusBond Composite 0+ Yr Index)に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社> 野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

先月の投資環境

○RBA(豪州準備銀行)は6月の金融政策決定会合において、政策金利であるオフィシャル・キャッシュレートを0.50%引き上げ、0.85%にすると決定しました。利上げは5月に続き2会合連続で、声明文においては、利上げの目的は豪州のインフレ率が長期で政策目標に戻るようにするためとしました。また、今後も利上げ方針を継続することを示唆しました。

○豪州10年国債の利回りは月間で上昇(価格は下落)となりました。上旬はRBAの金融政策決定会合において、市場予想を上回る0.50%の利上げが行なわれたことや、今後も利上げ方針を継続することを示唆したことなどを背景に、豪州10年国債の利回りは上昇しました。その後は、世界的な景気後退懸念の高まりを背景に、利回りは低下(価格は上昇)基調で推移しましたが、月間では利回りは上昇となりました。

○豪ドルは対円で上昇(円安)となりました。上旬は中国の上海で都市封鎖が解除され、段階的に制限が解除される方針が明らかとなったことや、市場でRBAの積極的な利上げの観測が強まったことなどを背景に上昇しました。その後は、5月の豪雇用統計にて、雇用者数の増加幅が市場予想を上回ったことや、5月の豪小売売上高が市場予想を上回ったことなどを背景に豪ドルが上昇しました。月間では豪ドルは対円で上昇となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は、Aコース、Bコースで、それぞれ-2.56%、-0.51%となりました。全てのコースで利息収入がプラス要因となったものの、豪州債券の価格下落がマイナス要因となりました。一方、Bコースは豪ドルが対円で上昇したことはプラス要因となりました。

○ファンドのパフォーマンスは、Aコース、Bコースでベンチマークをそれぞれ0.29ポイント、0.37ポイント下回りました。

投資戦略に基づき、マザーファンドで次のような運用を行ないました。

○セクター別配分はベンチマークに対して、国債をアンダーウェイト(ベンチマークに比べ低めの投資比率)、社債をオーバーウェイト(ベンチマークに比べ高めの投資比率)等としました。

○格付別配分はベンチマークに対して、AAA格をアンダーウェイト等としました。

○ファンドのデュレーション*は、ベンチマーク比で短めとしました。

*デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す割合。

今後の運用方針 (2022年6月30日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

豪州国内の経済については、5月の雇用者数の変化は前月比60,600人の増加となりました。雇用、消費は堅調で国内経済は緩やかな拡大基調にあります。引き続き、今後の動向を注視してまいります。

ポートフォリオについては、国債、州政府債などへの投資に重点を置いたポートフォリオを継続します。利回りが比較的高い社債については、債券種別、格付け、銘柄等の精査を個別に行ない、組み入れていきます。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村豪州債券ファンド Aコース／Bコース(野村SMA・EW向け)

お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|--------------|----------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人 日本投資 顧問業協会 | 一般社団法人 金融先物 取引業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会 |
| 野村證券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第142号 | ○ | ○ | ○ | ○ |

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。